

進路だより るもい

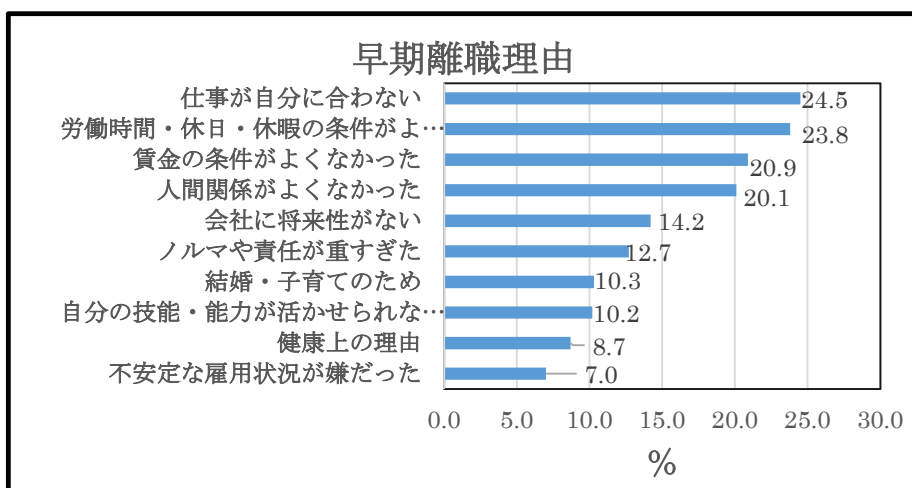


平成 27 年度第 2 号 平成 27 年 7 月 13 日発行 北海道教育庁留萌教育局 進路相談員 小野 進

就職を希望している高校生のみなさん、毎日勉強に、部活動等に励んでいることと思いますが、いよいよ 7 月になり求人票が公開されます。今、若者の早期離職が社会問題となっていますが、「やめる前にもう一度考えてみましょう！」ということで、今号では早期離職について特集します。

1. 早期離職の理由

若年労働者（15～34 歳）が初めて就職した会社を離職した理由を見ると、「仕事が自分に合わない」が 24.5%、「労働時間・休日・休暇の条件がよくなかった」が 23.8%、「賃金の条件がよくなかった」が 20.9%、「人間関係がよくなかった」が 20.1%などの順になっています。



(厚生労働省「平成 21 年若年者雇用実態調査」)

2. 留萌管内高卒者早期離職率

右の表のように 1 年以内の早期離職率の平均は 18.6%、2 年以内が 11.3%、3 年以内が 7.5%となり、3 年以内での早期離職率平均は 42.8%と、高い確率となっています。



つまらない

	1 年以内	2 年以内	3 年以内	合計
23 年 3 月卒	19.8	11.0	12.1	42.9
24 年 3 月卒	25.0	14.7	2.9	42.6
25 年 3 月卒	15.6	8.3		
26 年 3 月卒	13.9			
平均	18.6	11.3	7.5	42.8

(平成 26 年 11 月 ハローワーク留萌)

3. 離職理由とその対応

①仕事が自分に合わない、つまらない→会社ですぐに楽しい仕事ができるとは限りません。

どんな会社でも新人に責任ある重要な仕事は任せません。実績を積んでから責任ある仕事が任されるようになり、大きな達成感が得られるようになるものです。

②賃金や労働時間等の条件がよくない→会社に入ったばかりの社員に好待遇は難しいものです。

一般的には、その給料は個人の能力や、資格取得、会社への貢献度等で決定されていきます。仕事を覚え、一人前と認められて、それに見合った給料になっていくものです。

③人間関係がよくない→自分から積極的にコミュニケーションをとるように心がけましょう。

相手に自分を理解してもらうことが大切です。相手に快く感じてもらえるような接し方に努めることで、人間関係も円滑になっていくものです。